

「第60回京都府高等学校放送コンテスト」兼「第68回NHK杯全国高校放送コンテスト京都大会」 実施要項

アナウンス・朗読部門については、予選は事前に録音審査で行い、決勝進出者のみが6月20日(日)に会場で決勝を行います。また、番組部門は非公開の事前審査となります。

1 目的・ねらい・研究主題(統一テーマ)

NHK杯全国高校放送コンテストホームページ https://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/pdf.html から要項をダウンロードして必ずご確認ください。各府県への要項冊子の支給冊数に限りがありますので、冊子を希望される学校は事務局までお知らせ下さい。

2 主催

京都府高等学校文化連盟放送専門部、**NHK**京都放送局

3 部門

(1) アナウンス (2) 朗読 (3) ラジオドキュメント (4) テレビドキュメント (5) 創作ラジオドラマ
(6) 創作テレビドラマ (7) 研究発表

4 参加資格

(1) 令和3年6月現在、以下の学校に在籍中の生徒およびその作品であること。

高等学校および中等教育学校の後期課程・特別支援学校の各高等部・高等専門学校(第3年次までの生徒)

(2) アナウンス・朗読各部門への1校からのエントリー人数の制限は設けません。

ラジオドキュメント・テレビドキュメント・創作テレビドラマ・創作ラジオドラマ・研究発表各部門への1校からのエントリー数は、それぞれ1校1エントリーとします。

アナウンス部門と朗読部門の重複エントリーは出来ません。

(3) 番組制作の各部門は、高校生の創作に限ります。また、他のコンテスト・コンクール等に参加した作品及びそれを改変・改編した作品の参加は認めません。

(4) ドラマ部門の出演者は自校生徒に限ります。

(5) 参加校の顧問は、コンテストの運営、審査に関わることを条件とします。

(6) 参加生徒の氏名及び画像等個人情報をプログラム、ホームページ等に掲載し公開することがあるので、提出書類作成にあたって本人の了解を得てください。

(7) 本大会と併行して、第41回近畿高等学校総合文化祭放送部門アナウンス・朗読小部門予選 及び 第103回全国高等学校野球選手権大会京都大会開会式司会進行担当選考会 を実施します。詳細はそれぞれの要項をご確認ください。

5 参加費

各部門1名・1作品・1発表につき 1,500円とします。

6 会場

京都ノートルダム女子大学 ユージニア館 (〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地)

7 日程

令和3年6月20日(日)

8 全国大会への推薦

本年度の**NHK**杯全国高校放送コンテストには、主催者が入賞者(校)の中から出場にふさわしい生徒・作品を推薦します。アナウンス・朗読部門は6位まで、ドキュメント両部門は4位まで、創作ドラマ両部門は2位まで、研究発表部門は2位まで(研究発表会形式)。

9 参加申込み・提出物などの期日

(1) 参加申込

(ア) E-Mailによる受付

提出先は kyotohsb@gmail.com および rsone@kyoto-be.ne.jp (不達防止のため、両アドレスへお願い致します)です。高文連放送専門部ホームページ <http://kyoto-hsb.com> から参加申込書(Excelファイル)をダウンロードいただき、必要事項を入力し、ファイル名を「〇〇高校R03放送コンテスト参加申込.XLSX」としたものをEメール(タイトルを「〇〇高校放送コンテスト申込」として)に添付して御提出ください。

※ **参加申込み期日:5月26日(水)19:00まで** とし、これ以後の申込みは受け付けられませんので御注意ください。また、参加辞退をされた場合も、参加費の返却は行いません。

※ 参加申込書(公印押印済み原本)は**6月8日(火)までに郵送**してください。

(イ) 参加費の振り込み

振込先については後日御連絡申し上げます。なお、参加については放送専門部から領収書を発行致します。

(2) 原稿などの提出物

原稿、作品、読みの録音音源、進行表は、**6月7日(月)19:00まで**にメール送信またはファイル交換サーバ(京都府のサーバや一般のファイル交換サーバをご利用下さい。京都府のサーバを御希望される場合はお知らせ下さい。)で提出してください。迅速な事後処理のためメール・サーバでの提出に御協力下さい。

10 申込み・問い合わせ先

〒616-8226 京都市右京区常盤段ノ上町15 京都府立嵯峨野高等学校内

京都府高文連放送専門部委員長 曾根 隆一

TEL 075-871-0723 FAX 075-871-0724 携帯 080-5323-4199

E-mail:kyotohsb@gmail.com および rsone@kyoto-be.ne.jp

11 参加規定・様式

(1) アナウンス部門・朗読部門・ドキュメント部門・創作ドラマ部門・研究発表部門

(ア) 規定は「第68回**NHK**杯全国高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会要項」に準じます。

(イ) 以下の提出物を期日までに京都府高文連放送専門部事務局に**メールまたはファイル交換サーバ**を用いて提出してください。

・アナウンス部門(原稿)

原稿をExcelデータで、メールにて提出下さい。サンプル同様に、A列に番号、B列に学校名(読みません)、C列に氏名、D列に原稿を入力してください。ファイル名は「R03〇〇高校原稿」としてください。

	A	B	C	D
1	A108	京都高等学校	赤城三平	さて、問題です。「最小の合成数」月「二乗した数の下二桁が元の数に等しくなる2桁の自然数の最小値」日。これは一休何日何日のことか分かります。「歌は自分の鏡で、自己表現のルーツです」
2	A312	京都高等学校	桃江あきら	そう話すのは、本校一年生の黄山純さんです。彼女は中学2年生の4月から声楽に取り組んでいま

・朗読部門(原稿)

次のサンプルを参考にして、以下の手順で提出用原稿を作成して下さい。

- A4横の用紙に、書籍の該当ページを、文字が小さくならないようにコピーして提出してください。右側にヘッダを貼って提出となりますので、そのスペースを空けておいて下さい。
- 朗読開始箇所と終了箇所が分かるように少し太めのペンで印をつけてください。その際、朗読する箇所の文字に重なってしまわないように御注意ください。
- 本専門部HPからヘッダー(Excelファイル)をダウンロードして頂き、必要事項を入力して打ち出してください(「番号」とは「R224」などの番号であり、朗読課題の番号ではありません)。これを切り取って原稿の右端に貼付け、スキャンをとってPDF化してください。2枚に及ぶ場合はPDFを2ページとして下さい。2ページ目の原稿にはヘッダーの貼付は不要です。

番号		
学校名	京都高等学校	
氏名	河原町 京子	作者
作品名	羅生門	芥川龍之介

103

作品サンプル

ある日の暮方の事である。一人の下人が、羅生門の下で雨やみを待っていた。広い門の下には、この男のほかにも誰もない。ただ、所々丹塗の剥けた、大きな円柱に、蟋蟀が一匹とまっている。羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やみをする市女笠や揉鳥帽子が、もう二三人はありそうなものである。それが、この男のほかには誰もいない。

何故かと云うと、この二三年、京都には、地震とか辻風とか火事とか饑饉とか云う災がつづいて起った。そこで洛中のさびれ方は一通りではない。旧記によると、仏像や仏具を打碎いて、その丹がついたり、金銀の箔がついたりした木を、路ばたにつみ重ねて、薪の料に売っていたと云う事である。洛中がその始末であるから、羅生門の修理などは、元より誰も捨てて顧る者がなかった。するとその荒れ果てたのをよい事にして、狐狸が棲む。盗人が棲む。とうとうしまいに、引取り手のない死人を、この門へ持つて来て、棄てて行くと言ふ習慣さえ出来た。そこで、日の目が見えなくなると、誰でも気味を悪るが、この門の近所へは足がみえない事になってしまったのである。

その代りまた鴉がどこからか、たくさん集って来た。昼間見ると、その鴉が何羽となく輪を描いて、高い鴉尾のまわりを啼きながら、飛びまわっている。ことに門の上の空が、夕焼けであかくなる時には、それが胡麻をまいたようにはつきり見えた。鴉は、勿論、門の上にある死人の肉を、啄みに来るのである。——もつとも今日は、刻限が遅いせい、一羽も見えない。ただ、所々、崩れかかった、そうしてその崩れ目に長い草のはえた石段の上に、鴉の糞が、点々と白くこびりついているの見える。下人は七段ある石段の一番上の段に、洗いざらした紺の襦の尻を据えて、右の頬に出来た、大きな面皰を気にしながら、ぼんやり、雨のふるのを眺めていた。

作者はさつき、「下人が雨やみを待っていた」と書いた。しかし、下人は雨がやんでも、格別どうしようと云う当てはない。ふだんなら、勿論、主人の家へ帰る可き筈である。所がその主人からは、四五日前に暇を出された。前にも書いたように、当時京都の町は一通りならず衰微していた。今この下人が、永年、使われていた主人から、暇を出されたのも、実はこの衰微の小さな余波にほかならない。だから「下人が雨やみを待っていた」と云うよりも「雨にふりこめられた下人が、行き所がなく、途方にくれていた」と云う方が、適当である。その上、今日の空模様も少からず、この平安朝の下人の *Seitennarai* に影響した。甲の刻下さがりからふり出した雨は、いまだに上るけしきがない。そこで、下人は、何をおいても差当り明日の暮しをどうにかしようとして——云わばどうにもならない事を、どうにかしようとして、とりとめもない考えをたどりながら、さつきから朱雀大路にふる雨の音を、聞くともなく聞いていたのである。

作品サンプル

102

ある日の暮方の事である。一人の下人が、羅生門の下で雨やみを待っていた。広い門の下には、この男のほかにも誰もない。ただ、所々丹塗の剥けた、大きな円柱に、蟋蟀が一匹とまっている。羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やみをする市女笠や揉鳥帽子が、もう二三人はありそうなものである。それが、この男のほかには誰もいない。

何故かと云うと、この二三年、京都には、地震とか辻風とか火事とか饑饉とか云う災がつづいて起った。そこで洛中のさびれ方は一通りではない。旧記によると、仏像や仏具を打碎いて、その丹がついたり、金銀の箔がついたりした木を、路ばたにつみ重ねて、薪の料に売っていたと云う事である。洛中がその始末であるから、羅生門の修理などは、元より誰も捨てて顧る者がなかった。するとその荒れ果てたのをよい事にして、狐狸が棲む。盗人が棲む。とうとうしまいに、引取り手のない死人を、この門へ持つて来て、棄てて行くと言ふ習慣さえ出来た。そこで、日の目が見えなくなると、誰でも気味を悪るが、この門の近所へは足がみえない事になってしまったのである。

その代りまた鴉がどこからか、たくさん集って来た。昼間見ると、その鴉が何羽となく輪を描いて、高い鴉尾のまわりを啼きながら、飛びまわっている。ことに門の上の空が、夕焼けであかくなる時には、それが胡麻をまいたようにはつきり見えた。鴉は、勿論、門の上にある死人の肉を、啄みに来るのである。——もつとも今日は、刻限が遅いせい、一羽も見えない。ただ、所々、崩れかかった、そうしてその崩れ目に長い草のはえた石段の上に、鴉の糞が、点々と白くこびりついているの見える。下人は七段ある石段の一番上の段に、洗いざらした紺の襦の尻を据えて、右の頬に出来た、大きな面皰を気にしながら、ぼんやり、雨のふるのを眺めていた。

作者はさつき、「下人が雨やみを待っていた」と書いた。しかし、下人は雨がやんでも、格別どうしようと云う当てはない。ふだんなら、勿論、主人の家へ帰る可き筈である。所がその主人からは、四五日前に暇を出された。前にも書いたように、当時京都の町は一通りならず衰微していた。今この下人が、永年、使われていた主人から、暇を出されたのも、実はこの衰微の小さな余波にほかならない。だから「下人が雨やみを待っていた」と云うよりも「雨にふりこめられた下人が、行き所がなく、途方にくれていた」と云う方が、適当である。その上、今日の空模様も少からず、この平安朝の下人の *Seitennarai* に影響した。甲の刻下さがりからふり出した雨は、いまだに上るけしきがない。そこで、下人は、何をおいても差当り明日の暮しをどうにかしようとして——云わばどうにもならない事を、どうにかしようとして、とりとめもない考えをたどりながら、さつきから朱雀大路にふる雨の音を、聞くともなく聞いていたのである。

・録音音源

録音音源については、読みを無編集で録音し、MP3ファイルを作成して下さい。ファイル名は、番号+半角スペース+学校名+半角スペース+生徒氏名 としてください。

例:R232番の嵐山高校の朗読部門の赤城三平君の場合 → R232 嵐山 赤城三平.MP3

次のいずれかの方法で切までに、メールまたはファイル交換サーバにてお送り下さい。

・ドキュメント部門、創作ドラマ部門

番組進行表(様式2-1式)をメールで送信して下さい。作品はテレビ部門はMP4ファイルを、ラジオ部門はMP3ファイルを、録音音源と同様の方法で提出してください。

・研究発表部門

番組進行表(様式2-1式)、配布資料(必要な場合)、「研究要旨」(エクセル形式に学校名・研究タイトル・要旨を入力したもの。要旨は、研究の目的と方法論と結論を判りやすく200字程度でまとめたものとします。)をメールで送信してください。「発表データ」(パワーポイント)は、ドキュメント、ドラマ部門と同様の方法で提出してください。

上記のファイル以外に、発表の様子を録画した動画を提出してください。発表している生徒、パワーポイントの画面の両方が画面に収まるように録画してください。規定では機材調整を含め8分としています。発表開始から終了までを8分以内とします。ただし、全国大会においては規定通りとなりますので御注意ください。動画の形式や提出方法はテレビ部門と同様です。

(ウ) 朗読の指定作品は全国大会に準じます。第68回 **NHK** 杯全国高校放送コンテストホームページの「インフォメーション」、または要項を確認して下さい。京都府高文連放送専門部ホームページにも記載しています。

なお、朗読については注意事項が追加されることがありますので随時ホームページをご確認ください。

(エ) アナウンス・朗読部門については、決勝時には当日に提示される決勝課題も読んで頂きます。

(2) 様式

- (フ) 原稿及び作品データの提出の様式については、全国大会出場の際は全国の規定の様式での提出となりますので御注意ください。
- (イ) 権利処理一覧表（様式2-3）は、著作物を使用しない場合にも番組進行表に著作物使用なしの旨を記入し、添付してください。
- (ウ) 権利処理一覧表（様式2-3）で○をつけた番号は、番組進行表のCUEシート（様式2-2）に記入する際にも○をつけて下さい。

(3) 規定違反について

規定に違反した場合は減点や失格の対称となります。要項の各部門「規定違反について」の項目に注意してください。

(4) 権利処理、技術関係のお問い合わせ先（申込先とは異なります）

〒 606-8445 京都市左京区永観堂町51 東山高等学校内

京都府高文連放送専門部副委員長 天野俊次

TEL 075-771-9121 FAX 075-771-7217 E-mail:s_amano@higashiyama.ed.jp

(5) 提出物一覧まとめ（全て6月7日(月)19:00〆切 メールまたはファイル交換サーバにて提出）

朗読部門	①録音音源→MP3ファイル ②原稿→朗読はPDFファイル、アナウンスはExcelファイル
アナウンス部門	注:全国の原稿（様式1）は京都大会では使用しません。
テレビ部門	①作品→テレビ部門はMP4ファイル、ラジオ部門はMP3ファイル、研究発表部門は発表の様子を撮影したMP4ファイル
ラジオ部門	
研究発表部門	②番組進行表表紙(様式2-1)→Wordファイル、手書きの場合はスキャンしたPDFファイル ③CUEシート(様式2-2)→Excelファイル、手書きの場合はスキャンしたPDFファイル ④権利処理一覧表(様式2-3 著作権処理が必要なものがない場合も提出が必要です) →Excelファイル、手書きの場合はスキャンしたPDFファイル ④処理の必要な音源を使用した場合は、音源使用許諾申請書(様式2-4) →スキャンしたPDFファイル ⑤許諾等の処理をした場合は、取材許諾・著作物等ご提供のお願い(様式2-5) →スキャンしたPDFファイル [以下は研究発表部門のみ] ⑥発表用データ→PowerPointファイル ⑦研究要旨→Excelファイル ※研究発表部門については、様式2-1～5は校内放送研究発表会用のExcelファイルを使用して下さい。番組部門用のファイルとは異なります。

12 班分け、発表順について

アナウンス、朗読の各校のA・B・C各班への人数割りは事務局が行います。発表順はくじを引いて頂くこととなりますが詳細は後日お知らせ致します。決勝進出の際は再度くじを引いて頂きます。

13 事務局

〒616-8226 京都市右京区常盤段ノ上町15 京都府立嵯峨野高等学校内

京都府高文連放送専門部委員長 曾根 隆一

TEL 075-871-0723 FAX 075-871-0724 携帯 080-5323-4199

E-mail: kyotohsb@gmail.com および rsone@kyoto-be.ne.jp